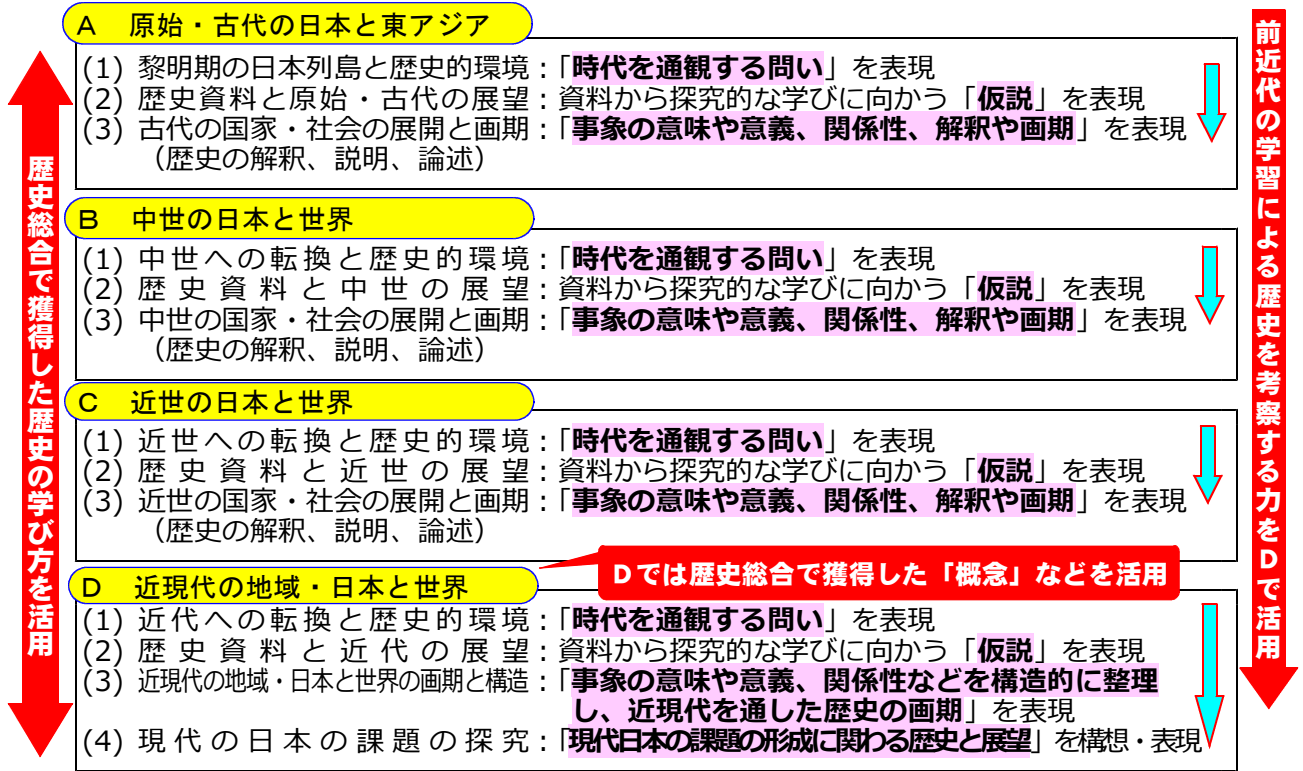


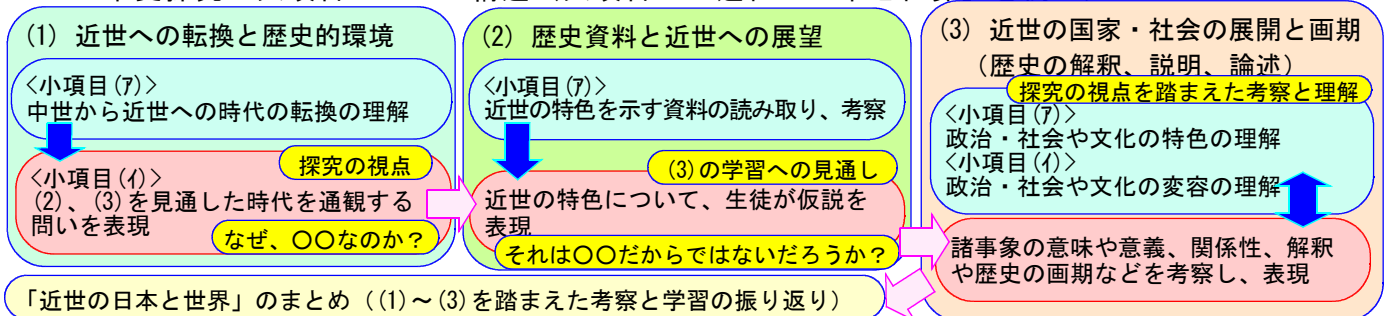
「日本史探究」のトリセツ

1 日本史探究の構造

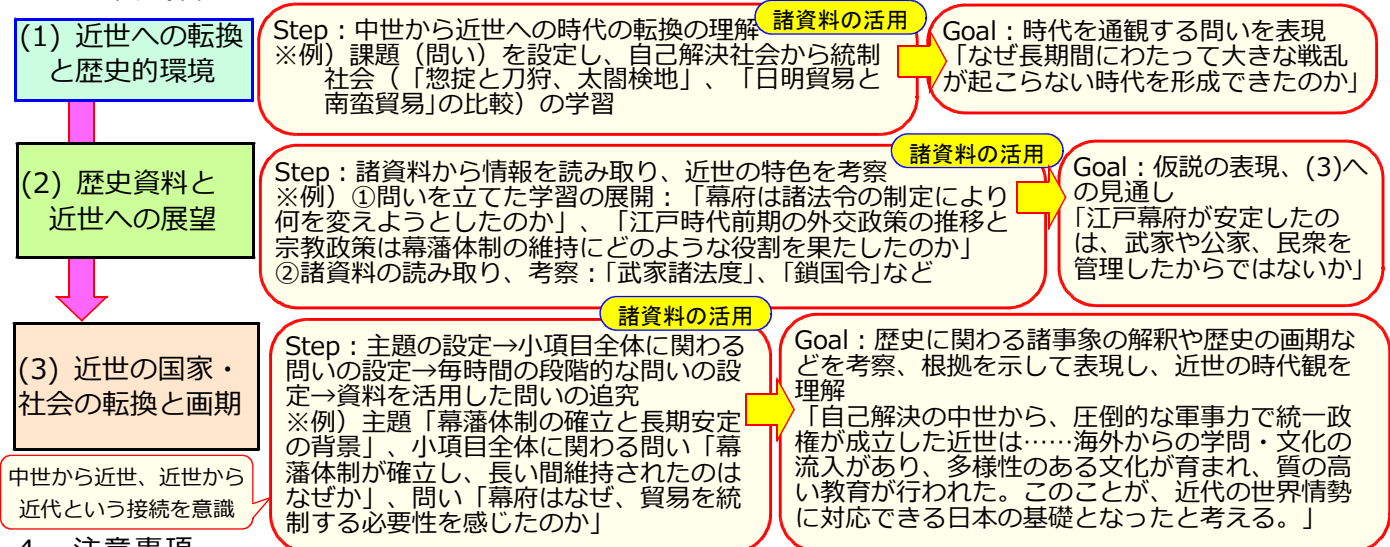


※各大項目の(3)で身に付けた思考力・判断力・表現力等を活用し、「D(4)」で行う、生徒が主題を設定し、仮説を表現したり、表現したことがらを振り返ったりする探究活動を想定し、年間指導計画を作成することが大切

2 日本史探究の大項目A～Cの構造（大項目C「近世の日本と世界」を例に）



3 日本史探究の大項目A～Cの授業の進め方（大項目C「近世の日本と世界」を例に）



4 注意事項

- (1) 「日本史探究」は、教科書を「隈無く」順番に学習し、全てを網羅する科目ではありません。→「歴史総合」で育んだ歴史の学び方や、獲得した概念などを活用して考察、構想する科目です。
- (2) 「歴史総合」で近現代を学習したので、「日本史探究」は前近代で終了する、ということはありません！→「日本史探究」では高校の歴史学習のまとめとして、生徒が現代の日本の諸課題を歴史的に考え、表現し、未来への展望を描くことができるようにしましょう。